


研修名	自殺未遂者支援者研修（高齢者編） 「高齢者の自殺未遂者にどうかかわるか」
講師	福岡大学医学部 精神医学教室 衛藤 暢明 医師
開催日時	平成29年10月22日（日）10:00～12:00 講義～自殺予防の基礎知識～ 13:00～16:00 事例紹介～高齢者を中心に～
開催場所	北九州市総合保健福祉センター 6階 61会議室
参加者数	講義 27名 *内訳：保健師・介護支援専門員・相談員・ボランティア・カウンセラー等
研修の内容等	<p>【講義・事例紹介】自殺予防の基礎知識や高齢者の自殺の特徴、自殺企図に対する対応方法、リスク評価スケール「SAD PERSONS」の紹介、「SBAR」による症例のまとめ方等</p> <p>【事例検討】グループに分かれて、「SBAR」にそって、4症例をまとめるグループワークや意見交換を行った。</p> 
参加者の声	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なスケールのアセスメント方法がわかり、現場で活かせそうです。 ・自殺企図者に対し、見えないところもあるものとして考え、背景等を含め評価すること。希死念慮は一過性であり、両価的であることなど、未知のことがわかりました。 ・自殺の可能性を、低く考えがちであることに気づかされた。 <p>【事例検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例に対して、他機関に伝える内容を整理できた。 ・SBARを取り入れた情報提供を、これから行っていきたいと思います。 ・症状・家族関係・通院歴・生活歴が、色々な角度からの視点が必要と感じました。 ・自殺の危険度に関し、職場間で共有したい。